

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	市貝町教育委員会	代表者名	小森 祥一
担当者部署	こども未来課	連絡先電話番号	0285-68-1119
担当者役職	課長補佐兼管理主事兼指導主事	担当者氏名	國井 朱美
住所	321-3423 栃木県市貝町市塙1280		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回はまん延防止が解除されずZOOM研修会となってしまった。今回は、プログラミング学習に特化した研修会で、短い時間でしたが、実際に先生方が操作し体験したことにより得た学びを元に、今後子ども達への授業における指導助言に結びつけることにつなげることが大いに期待される。また、町内の先生方も参加し、共に研鑽をつむことができた。
アドバイザーへの要望事項	今年度3回御指導いただいたが、大変有意義で町のICT教育の発展に大いに寄与していただいた。ぜひ、次年度も来町いただき、御指導いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月28日	15時30分	16時30分		60
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	宇都宮
	所在地	同上		最寄駅からの交通手段	同上
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市貝町教職員	24 人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	新学習指導要領の新たな理念に基づいたICT機器活用による授業の工夫・改善をどのように進めていったらよいか見当がつかない状況である。GIGAスクール構想の前倒しにより、町内の小中学校にもこの4月には一人一台端末が配備されたが、日々多忙なか、学校の教育活動での活用について、ICT教育の本質を学び、実践力を身に着けることができるのか指導できるものが身近にいない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ICT教育の本質を教員が理解すると共に、学習活動だけでなく様々な教育活動の中で、教員と児童生徒がICT端末を道具として日常的に使える状態にする。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	予測困難な状況に対応できる「未来を創る」子どもを育てるためには、先生方の役割も当然変わる必要があるのかを先生方が松田先生との研修会を通じて、きちんと理解することにより、柔軟に対応しながら取り入れる姿が多く見られた。また、日常化を意識することで、「特別なもの」から「あたりまえのもの」へと変化し、積極的に活用を図ることができた。日常化を図ることにより、先生方だけでなく児童生徒のスキルも非常に向上している。
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	この1年間を通じて、先生方も児童生徒も飛躍的にICT活用能力が向上した。なぜ、いまICT教育の充実を図る必要があるのかを先生方が松田先生との研修会を通じて、きちんと理解することにより、柔軟に対応しながら取り入れる姿が多く見られた。また、日常化を意識することで、「特別なもの」から「あたりまえのもの」へと変化し、積極的に活用を図ることができた。日常化を図ることにより、先生方だけでなく児童生徒のスキルも非常に向上している。

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	I C T機器活用の導入から始まり、日常化まで進んできたが、プログラミング教育に関しては、第3回目でやっと触れることができたので、今後更に深める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 第3回目は当初2月頭に実施する予定でしたが、コロナウイルス感染症の感染拡大のため、結局2月松の実施となってしまい、アンケートが期間内に実施することができなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	I C T機器活用による学習活動の充実、本町のプログラミング教育モデルの確立	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

